

賃上げ政策へ本腰を

共産党・志位^{委員長}が 政府に提起



志位委員長が提起した 2つのとりくみ

1 政府として経済界にたいし本腰 を入れて賃上げ要請を

経済界は賃上げはおろか、定期昇給の拒否など「デフレ促進策」を公然と唱えている。政府は、正面から企業の社会的責任として賃上げの要請をするべき。

2 政府として一括で「賃上げ促進政策」を実行する

- ▽非正規社員の正社員化
- ▽最低賃金の抜本的引き上げ
- ▽中小企業と大企業との公正な取引のルール
- ▽公務員給与削減や生活保護の切り下げなど「賃下げ促進策」をやめる——を同時に推進。

日本共産党の志位和夫委員長は2月19日、国会内で菅(すが)官房長官と会談し、党が先に発表したアピール「賃上げと安定した雇用の拡大で、暮らしと経済を立て直そう」を手渡し(左上写真)、「政府として本腰を入れて賃上げ政策をとるべきだ」と提起しました。

志位氏は、賃上げと安定した雇用は労働者の当然の願いであるとともに、デフレ不況打開のために待ったなしの課題になっていると強調しました。

そのうえで、デフレ不況打開のアプローチについては政府と日本共産党で立場の根本的違いがあるが、この間の国会論戦を通じて、▽賃上げの必要性▽その条件は内部留保のことを考えれば存在する—という2点では認識が一致していると指摘し、「政府として『賃上げターゲット(目標)』を持ち、本腰を入れて賃上げ促進策に取り組むべきです」と述べました。

このなかで志位氏は、具体的に左の囲みのように2つの取り組みを提起しました。菅氏は、志位氏の提起に、「ご趣旨は承りました。総理に伝えます」と応じました。

消費税
増税NO!

賃上げ実現させよう

「賃上げと雇用の安定拡大でこそ、デフレ不況が打開できる」という私たちが主張してきた共産党の提案は、政府も認めざるをえなくなり、大きな世論になりつつあります。さらに世論を広げ、実際に賃上げと国民一人ひとりの所得アップを実現するために、全力をあげます。ご一緒にがんばりましょう。



△「池袋派遣村」にスタッフとして参加する吉良さん



参議院東京選挙区予定候補

きら・よしこ

吉良よし子



前都議会議員(北区)

そねはじめ

日本共産党の「賃上げ、雇用拡大提案」。ぜひお読みください

詳しくはホームページでhttp://www.jcp.or.jp/web_policy/2013/02/2013214.html

東京
民報

ご意見・ご要望は 03-3370-0311、FAX 03-3370-0471

2013年2・3月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。

発行/東京民報社(港区芝1-4-9 平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可

日本共産党